

EA993BA-2、-4 油圧ジャッキ



【仕様】

品番	能力	最高長	最低長
EA993BA-2	2t	345mm	181mm
EA993BA-4	4t	385mm	195mm

品番	揚幅	アジャスター	本体サイズ	重量
EA993BA-2	164mm	50mm	94×94×181(H)mm	2.5kg
EA993BA-4	190mm	60mm	100×108×195(H)mm	3.0kg

- ハンドル…長さ:340mm(2本連結時)、径:約21.5mm
- 使用オイル…ISO VG10
- 使用環境…-10~+60°C

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用ください。



危険

この表示を無視したり取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視したり取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視したり取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、或いは物的損傷が発生すると想定される内容を示しています。

■その他の表示

重要

この表示の記載内容は、ご使用になる上で非常に重要な内容を表していますのでジャッキをご使用になる前に必ずお読みください。

安全にお使いいただくために

■使用目的

ジャッキアップまたはジャッキダウンさせる場合や重量物を横方向から押して移動させる目的で使用するジャッキです。

■使用上の注意 **重要**



危険

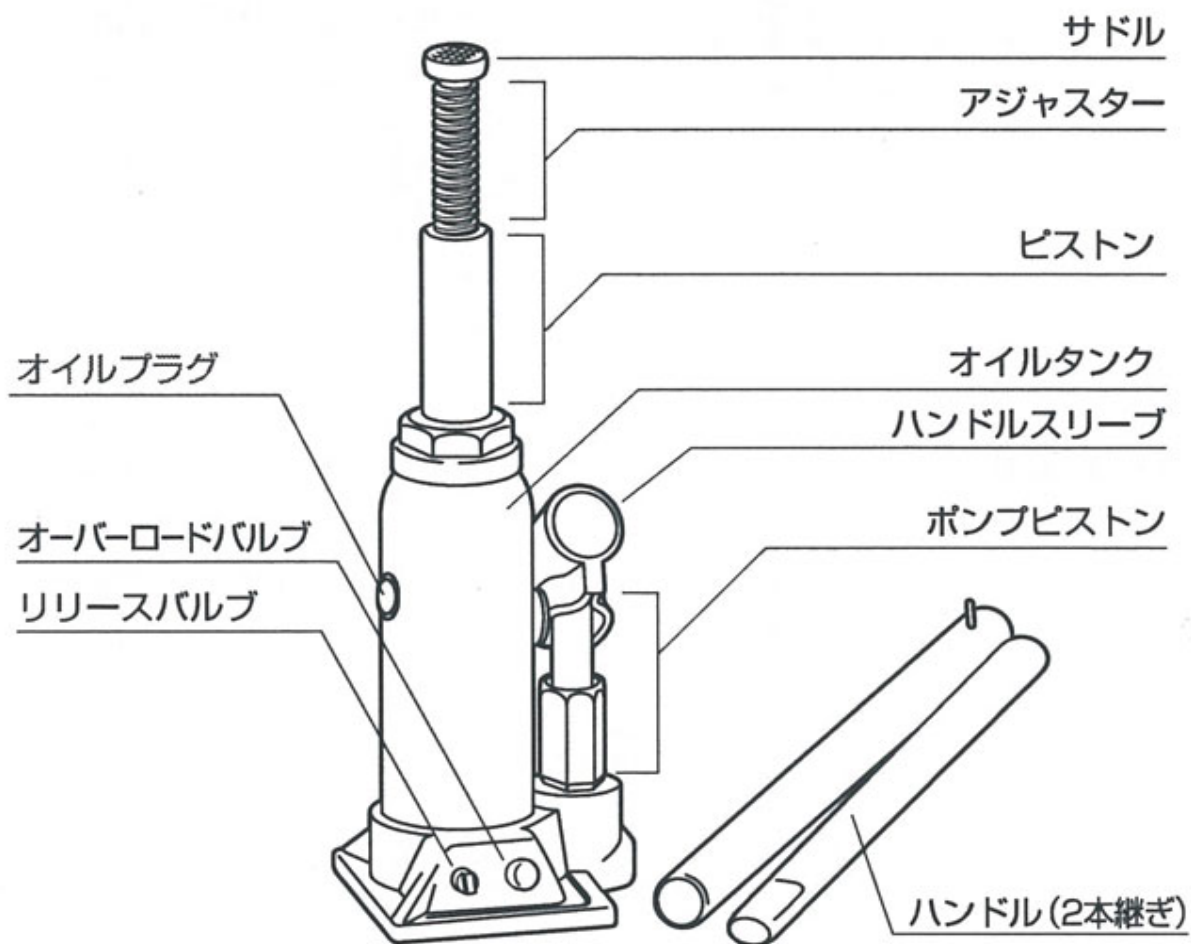
- ジャッキアップした状態のまま車体の下には絶対に入らないでください。
- ジャッキを設置する際は、使用中に絶対にジャッキが外れない部分に設置してください。ジャッキアップしている対象物を破損させたり、対象物が落下するなどの危険性があります。
- ジャッキアップした物、車などの下へ手、足、身体を入れないでください。ジャッキアップ後の作業や物を上げた状態にする場合は、必ずジャッキスタンドを使って支え、安全を確保してください。

警告

- 取扱説明書をよく読み充分理解した上で使用してください。本書には重要警告事項の説明が記載されています。警告に従わずに使用した場合、重大な事故につながります。
- ジャッキを改造したり本来の用途以外の目的で使用しないでください。
- 自動車をジャッキアップおよびジャッキダウンする際は自動車の下に人や物などがいないことを確認してから作業を行ってください。
- ジャッキに異常が発生した場合（オイル漏れ、破損、変形など）、使用を中止して異常箇所の修復を完全に行うまでジャッキを使用せず、直ちに販売店または弊社までご連絡ください。そのままご使用になった場合、重大な事故につながる危険性があります。
- 本製品でジャッキアップする際は、必ず事前にボトルジャッキ用のジャッキポイントの位置を確認してください。（ジャッキポイントの位置は車種によって異なりますので、詳しくは自動車、メーカーへお問い合わせください。）
- ジャッキアップやジャッキダウン中にジャッキアップした物に振動や力を加えたりしないでください。
- 本製品は平滑で強固な地面でのみご使用ください。傾斜地や凹凸のある地面、軟弱な地面では使用しないでください。
- ジャッキは2台以上同時に使用しないでください。
- ハンドルを使用しないときは必ずハンドルスリーブから外してください。
- 本製品の能力以上の負荷で使用しないでください。
- 必要以上に対象物をジャッキアップしないでください。
- 本製品は-10℃～60℃の範囲の温度環境で使用してください。

注意

各部の名称



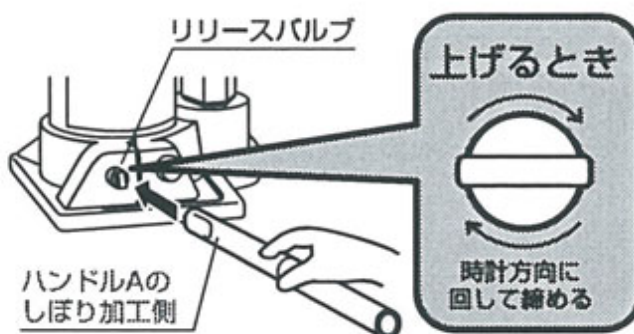
使いかた

■ジャッキアップ

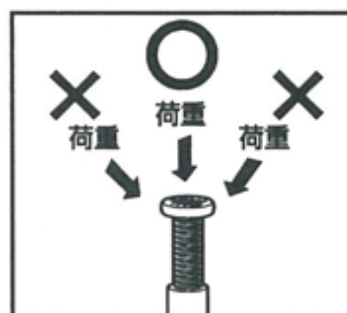
- 1) 平坦で堅い地面にジャッキを置き、ジャッキポイント*の位置を確認してサドルをセットしてください。*ジャッキポイント:車体下部にあるジャッキのサドルを当てるための最適な箇所(ジャッキポイントは車種によって異なりますので自動車に添付のマニュアルや自動車メーカーに確認するなど、事前に確認してください。)
- 2) ハンドルをつないでください。



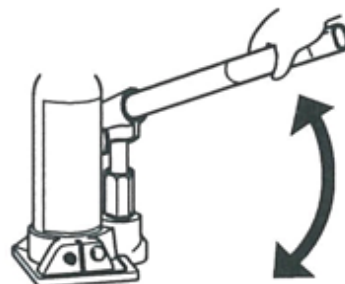
- 3) ハンドルのA側のしぼりをリリースバルブに差し込み、時計方向に回してリリースバルブを締めます。*リリースバルブの締め付けが不十分な場合、ジャッキアップしなかったり、下がってきたりしますのでしっかりと締めてください。



- 4) アジャスター使用の場合は、アジャスターを反時計方向へ回してサドルをジャッキポイントに当ててください。



- 5) ハンドルのB側をハンドルスリーブに差し込んで、上下いっぱいポンピングしてください。サドルが上昇し、自動車をジャッキアップします。



警告

- 傾斜地や地面が軟弱な場所、平坦でない場所では使用しないでください。ジャッキが傾いたり、サドルが外れて自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険があります。また傾斜地ではジャッキアップ中に自動車が動き出して重大な事故につながります。
- 自動車メーカーの指定するボトルジャッキ用のジャッキポイント以外ではジャッキアップしないでください。車体の変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。
- 電子制御サスペンション車は、必ず自動車に添付のマニュアルを確認してから作業をしてください。

■一定の高さで保持する場合

ハンドルの上下動作を停止すると、サドルが自動車を保持したままの状態になります。

危険

- ジャッキアップした状態のまま車体の下には絶対に入らないでください。車体の下に入って作業をする場合は必ずジャッキスタンドなどを使用してください。
- ジャッキアップした状態のまま自動車を移動させたり、車体に衝撃を与えないでください。

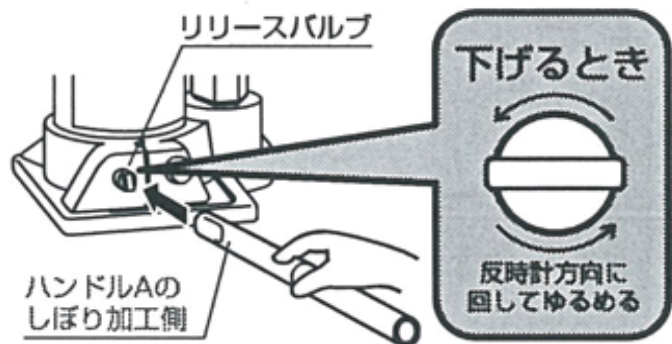
注意

- ジャッキアップ作業中は、リリースバルブに触れないでください。

■ジャッキダウン

1) ハンドルのA側をリリースバルブに差し込み、反時計方向にゆっくりと回してください。リリースバルブが緩み、サドルが下降します。

※サドルに荷重がかからなくなるとその位置からサドルは下降しません。手や足などでサドルを下げてください。



2) アジャスターを時計方向に回してサドルを下げてください。

危険

- リリースバルブを急激に緩めないでください。サドルが急激に降りるため、自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険があります。

注意

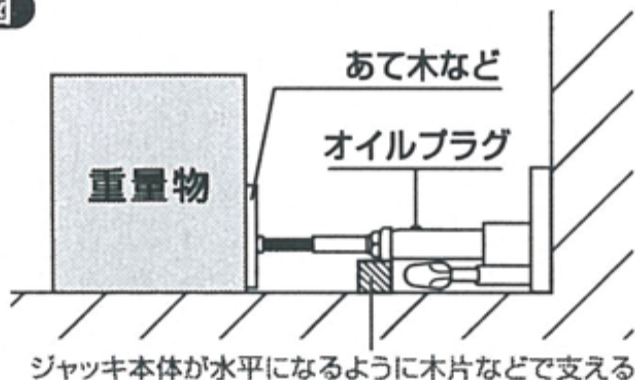
- 故障の原因になりますので、リリースバルブは完全に締めた状態から1回転以上緩めないでください。オイル漏れや故障の原因になります。

■水平方向で使うとき

オイルプラグの位置が上になるように本製品を設置して使用してください。

※上記以外の向きに設置して使用した場合、正常に動作しません。

側面図



注意

- 重量物を移動させる際には周囲の安全を確かめてから作業をしてください。
- 移動させる重量物への損傷を避けるため、ジャッキのサドルと重量物の間に使用状況に応じたあて木などを挟んでご使用ください。

■作業が終了したら

作業が終了したら、サドルや製品本体、可動部分などに付着した泥、オイル、グリース、水滴などの汚れをきれいにふき取ってください。

メンテナンス

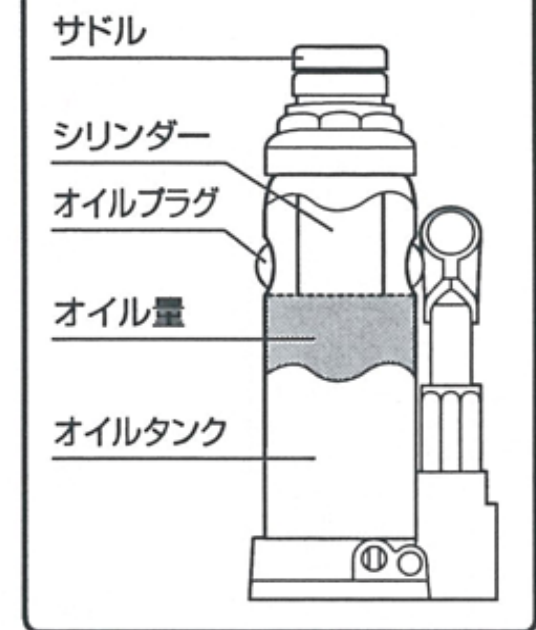
■ジャッキのお手入れ

- 1) ジャッキを使用しないときは錆などによる動作不良を防止のため、アジャスターおよびピストン、ポンプピストンを最下位の位置に下げておいてください。
- 2) ジャッキは常に清潔にして、可動部分に時々注油してください。
- 3) オイルの量を定期的を確認し、オイルの量が減少している場合は、適量を補充してください。
- 4) 頻繁にご使用になる場合や長期保存の場合は、最良の状態を保持するために約1年ごとにジャッキオイルを交換してください。
- 5) 保管する際は、錆や動作不良などの故障の原因になりますので、雨や雪がかかる場所や湿度の多い場所には保管しないでください。

■ジャッキオイルの補充および交換

- 1) オイルプラグをプライヤーなどで外して(オイルプラグを挟みながら引っ張ると外れます)リリースバルブを緩めます。
- 2) オイルプラグの穴を下に向けて、古いオイルを排出してください。
- 3) ほぼ完全にオイルを排出した後にジャッキオイル(純正ジャッキオイル ISO VG10)をオイルプラグの穴に注入してください。またオイル注入中にゴミなどが入らないように注意してください。
- 4) ジャッキオイルの適正量は、ジャッキを水平な場所へ垂直に立て、ピストンおよびポンプピストンを最下位まで下げて注入し、オイルプラグの位置までです。
- 5) サドルが途中までしか上がらないときは、ジャッキオイルの不足が考えられますので、ジャッキオイルを適正な量まで補充してください。
- 6) 作業終了後は、オイルプラグを取り付けてください。マイナスドライバーなどで端の部分を押込みながら、指で押さえると簡単に取り付けることができます。

油の適正量



⚠ 注意

- 火気のある場所、またはその近くでオイル補充および交換をしないでください。
- ジャッキオイルは指定されたもの以外は使用しないでください。エンジンオイルやその他のオイルは粘度が異なるため作動不良の原因になりますので絶対に使用しないでください。
- ジャッキオイルを補充する際に、オイルタンク一杯にジャッキオイルを入れるとジャッキが作動しません。必ず適正量をお守りください。

■エア抜き

- 1) ジャッキを水平な場所へ垂直に立て、リリースバルブを緩めてください。
- 2) オイルプラグをプライヤーなどで取り外してください。
- 3) ポンプピストンをすばやく10回程度ポンピングしてください。この動作を行うことにより、パワーユニット内部に入っていたエアが抜けて正常に動作します。
- 4) オイルプラグを取り付けてください。マイナスドライバーなどで端の部分を押込みながら、指で押さえると簡単に取り付けることができます。

■オイルの強制循環

- 1) リリースバルブを緩めてください。
- 2) ジャッキを水平な場所へ垂直に立て、ジャッキ本体を固定させ、ピストンをすばやく引き上げてください。
- 3) 2の動作を数回繰り返します。この動作を行うことにより、パワーユニット内のゴミが強制的にオイルタンク内に移動します。オイルタンクに設けられたゴミ除去ネットにより、ゴミが再びパワーユニット内に戻ることはありません。

故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度この取扱説明書をよくお読みいただき、下記の点検をしてください。点検を行っても状態に変化がない場合は、お買い上げの販売店または弊社へご相談ください。

